

HOPE LifeMark NaviChart

臨床意思決定支援システム



■ CDSS (※) 機能を備えたパッケージ製品 = NaviChart (ナビチャート)

NaviChartは、予め設定した条件(ルール)に基づき、「診療支援情報」をカルテに通知します。この「通知」が、アラートやリマインドといった「提案」となり、カルテ利用者の意思決定がより適切に変化するように支援します。

※医師など医療従事者向けに、診断や治療時にアラート・サジェスションとして電子カルテの画面等から「通知」を行い、意思決定を支援するシステムの総称です

「通知」を起点とした意思決定の変化により、
「医療の安全性向上」や「病院収益の改善」等の課題解決に貢献



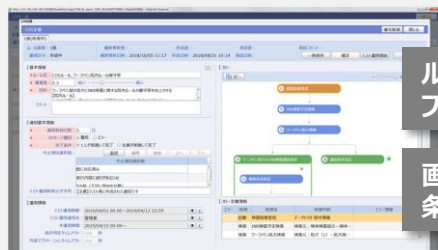
■ 院内の課題解決事例

	ルール	効果
収益改善	DPCコーディングの適正化 (通知による提案)	年間200万円の収益増加 ※ ※シミュレーションによる試算結果
医療安全	検査のパニック値 通知自動化	従来の電話連絡(月150件)より ミス防止
業務改善	輸血後感染症検査 通知自動化	輸血部スタッフ業務20時間/月 軽減

■ NaviChartの4つの特長

NaviChartには、4つの特長があります。
各種機能を活用し連動させることで、高い効果を発揮します。

1. ルール作成をプログラムレスで実現



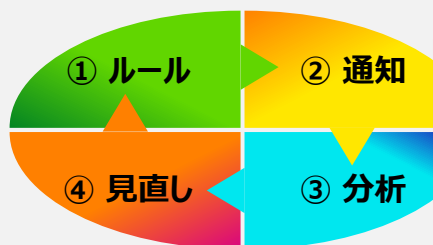
ルール作成に
プログラミングは不要

画面操作での
条件設定を実現

2. ルールの実行実績の可視化

ルール実行実績をはじめ、
運用状況を追うことで、
ルールの改善点を発見

3. 運用の業務サイクル化



実行結果を振り返り
PDCAを繰り返す
ことでさらに最適な
意思決定を支援

4. サポート機能を充実

サンプルルールを搭載（14ルール）

例）てんかん指導料算定対象患者の通知など

インポート・エクスポート機能

他施設の効果的な事例を設定流用(検討効率化)

（バッチ）フロー確認機能

作成しながら抽出条件を評価(評価効率化)

■ 活用事例（ケース：転入院時の監視培養検査）

問題

他院や高齢者施設からの患者転入院時に**必要な事前検査が漏れてしまう**。検査が漏れ、入院後に保菌が判明した場合、医療安全・収益確保に重大な影響も。

NaviChartにて可能な対処

検査実施状況について通知を行うことで、**医療安全・病院の社会的評価・収益への影響を未然に防ぐ**ことが可能。
(転入院の患者に対し、入院前に検査実施済かチェック)

<通知条件>

入院実施伝票が『他院・高齢者施設から転入院あり』かつ入院前日および当日に特定の細菌検査が存在しない患者を対象に通知

通知画面（通知内容（例）より抜粋）

通知詳細

ステータス: 未処理 重要度: 中

件名: 耐性菌伝播拡大予防

受信日時: 2022/03/30 12:04 期限: 2022/04/04(月)

患者: [患者名]

ルール名: 耐性菌伝播拡大予防 ルール版数: 1

耐性菌伝播拡大予防
他院・高齢者施設からの転入院患者です
スクリーニング検査のオーダが未発行です。

・VRE(便または肛門周囲スワブ)
・MDRP(尿)(痰: 人工呼吸器または気管)

【ボタンの説明】

- 実行: スクリーニング検査オーダを生成する。
- 中止: 処理を実行する必要がない。(理由の入力が必要です)
- 保留: 後で処理を行う。(ご希望の再通知時刻を選択してください)
- カルテを開く: 該当患者のカルテを開く
- 閉じる: 処理せずに閉じる。

実行 中止 保留

カルテを開く 閉じる

「実行」をクリックすることで、
カルテから検査依頼オーダ画面
へ直接遷移

- 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 印刷の都合により、実際の色とは、若干異なる場合があります。

- 本カタログに記載のされている内容については、改善のため予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は医療機器ではありません。

富士通Japan株式会社

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)